

自由民主党

衆議院議員 田中和徳

国政報告第251号

ご相談やご意見、ご要望のある方はお気軽にご連絡ください

衆議院議員田中和徳事務所
TEL 03-3508-7294
FAX 03-3508-3504
http://www.tanaka-kazunori.com
E-mail: k-tanaka@kamome.or.jp



薬物犯罪の減少には専門医療対策が不可欠！

自民党再犯防止特命委員長・田中和徳が、平成28年度の違法薬物対策を説明します。

1. 日本の違法薬物取締りと

- 日本の刑務所収容受刑者の約3割が覚せい剤事犯で、再犯率は6割を超える。日本は平成32年までに犯罪最少国家実現を目標としており、依存症者の再犯防止対策拡充は急務である。また、警察捜査、裁判費用や刑務所維持費等、受刑者一人あたりに約1,000万円の公費が掛かり、治療体制の充実を通して再犯を防止することは公的財政の観点からも重要である。

2. 田中和徳の提言と、平成28年度の違法薬物対策

- 田中和徳は党再犯防止特命委員長として、専門家の意見聴取、海外の刑務所視察、委員会内での集中的な議論を経て、以下の内容の提言を法務大臣と厚生労働大臣に提出した。
 - ①薬物依存症の専門的治療が可能な医療機関の整備を日本全国で推進する。
 - ②依存症治療の報酬底上げや待遇改善を進め、専門スキルを持った人材を育成する。
 - ③刑務所・少年院・保護観察所等における依存症者に対する指導体制を強化する。
- 下記の通り